



Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

2021年4月25日朝刊中部版



紙面を使いながら情報の読み解き方を解説する矢沢さん(右)＝焼津市の市立焼津図書館

## 紙面で情報読み解こう

元中学校長 矢沢さん 新聞の有用性強調



Newspaper in Education

焼津

焼津市立焼津図書館で24日、元中学校長の矢沢和宏さん(静岡新聞NIEコーディネーター)を講師に招き、講座が開かれた。本紙の紙面を使いながら、情報の読み解き方や活字の魅力を伝えた。矢沢さんは新聞につ

いて「インターネットで情報の高速化が進む中で、主体的に活字や情報に向き合える。考える力が付く」と有用性を強調。紙面化までの工程を紹介しながら、新聞の高い信頼性を指摘した。朝刊で掲載される文字量が13万文字で文庫本一冊に匹敵すると紹介。「まずは見出しを中心に眺めてほしい。気になる記事があれば読み進めてほしい」と新聞の読み方のコツを伝授した。見出し一つで記事のニュアンスが変わることも具体的事例を交えながら紹介した。

①記事の講座は何を伝える目的で開催されましたか。

②新聞の情報の有用性について書かれている部分に線を引きましょう。

③新聞を読み進めるコツは何だと言っていますか。

④新聞の「見出し」にはとても大切な役割があります。記事を参考にその理由を30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。


年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校、高校/国語、社会、総合)



Newspaper in Education

# 静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

## 解答例

2021年4月25日朝刊中部版



紙面を使いながら情報の読み解き方を解説する矢沢さん（右）＝焼津市の市立焼津図書館

## 紙面で情報読み解こう

元中学校長 矢沢さん 新聞の有用性強調

焼津

①記事の講座は何を伝える目的で開催されましたか。

情報の読み解き方や活字の魅力

②新聞の情報の有用性について書かれている部分に線を引きましょう。

本文2段目1行目～5行目「インターネットで～考える力が付く」、7行目「新聞の高い信頼性」に線を引く。

③新聞を読み進めるコツは何だと言っていますか。

(例)まずは見出しを中心に眺め、気になる記事があれば読み進める。

焼津市立焼津図書館で24日、元中学校長の矢沢和宏さん（静岡新聞NIEコーディネーター）を講師に招き、講座が開かれた。本紙の紙面を使いながら、情報の読み解き方や活字の魅力を伝えた。矢沢さんは新聞につ



Newspaper in Education

いて「インターネットで情報の高速化が進む中で、主体的に活字や情報に向き合える。考える力が付く」と有用性を強調。紙面化までの工程を紹介しながら、新聞の高い信頼性を指摘した。

朝刊で掲載される文字量が13万文字で文庫本一冊に匹敵すると紹介。「まずは見出しを中心に眺めてほしい。気になる記事があれば読み進めてほしい」と新聞の読み方のコツを伝授した。見出し一つで記事のニュアンスが変わることも具体的事例を交えながら紹介した。

④新聞の「見出し」にはとても大切な役割があります。記事を参考にその理由を30字以内で書きましょう（句読点を含みます）。

- (例)見出し一つで記事のニュアンスが変わってしまうから。(25字)
- 新聞を読むとき、まずは見出しを見ることから始めるので。(27字)
- 見出しを見ることで、ニュースの概要をつかむ人が多いので。(28字) など

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校、高校／国語、社会、総合)